

五年間、疎遠だった初恋の幼馴染が  
めちゃくちゃ育っていた件

ムキ

幼馴染・高嶺雪華(○6歳)  
推定バスト100cm越え

※この話には妄想NTRがあります。  
苦手な人は注意してください。

ムキ

五年前

あ、あのね、春斗くん…お、大きく  
なったら雪華と結婚してくれる？

もじ…

もじ…

なっーは、はあっらお、おまえ  
みたいなべったんじと結婚する  
わけないだろっーば、ばっか！

俺は好きな子に照れ隠しから  
ひどいことを言っつしまった…

それがきつかけだったかは……正直、覚えていらないけど、その辺りから二人とも段々と別の友達と遊ぶようになっていった。(俺は男友達と、雪華は女友達と)



中学に入っつて、学校が別々になると本格的に疎遠になり家が隣なのにも関わらず、まったく顔を合わせることもなくなつた。まあ、そんなわけで「俺の初恋」の「雪華」のことは、「小さい頃の思い出」となつてしまつた……



五年後(現在)

あ…、春斗くん？  
ひさしぶりだね

ムキ

うん、そうだよ。昔、よく一緒に  
君と遊んだ、幼馴染の雪華だよ

え？あ…もしかして  
高嶺雪華……さっか？

ムキ

ひさしぶりだね…



疎遠になってから約5年、道端で偶然再会した俺の  
幼馴染の容姿は、以前とはまるで別人のようだった。  
どちらかといえば大人しい印象だった女の子は今では  
**スクールカースト上位にいる美少女**となっていたのだ。

逆に中学から現在、すっかりオタクとなっていて  
スクールカーストの底辺……とは、言わない  
までも割と下の方にいる俺とは雲泥の差だった。

だが、相手は昔仲良くしていたあの雪華だ。…いまさら何が  
どうなるとは思えないが…「もしかしたら、この機会にもう  
一度仲良くなれるかもしれない」。そんな淡い希望を抱いて、  
俺はなけなしの勇気を振り絞って彼女をお茶に誘った…。

ムチ

あ、あの…た、高嶺さん？  
もしよかったら「」の後、暇？  
おちや、お茶とかさ、どう？

な、なんか最近の事とか、あの  
昔の思い出話とかさ、そ、その  
あの、したらな〜って、さ〜！

あ、しめんね、私いま彼氏いるから……それってのはちよつと……

え？あんなか、カレシとくへ、あ、そつななんだ……？

ムキムキ

ムキムキ

う、うん

まあ、秒で振られたんだけど

気まずそうに断る彼女の顔は少し引きつっていた。  
おそろしく大分キモかったのだろう。「何?」この人?  
なんでお茶に誘ってんの? キモオタの癖に」である。

あ、あの…じゃ、じゃあ  
私、このあと用事が…  
あるから、い、いくね?

あ、うん…はい  
じゃ、じゃあ…

結局そのあと、微妙な空気のまま  
お互い別れる事になった…

帰宅後も、ずっと頭の中にあるのは、やはり雪華のことだった。疎遠になってから少し顔を合わせずらくて、意識的に彼女のことを避けていた自覚はある。だからまさかあんなスタイル抜群な美少女に成長していようとは………考えもしなかった。

それにそんな雪華に「**彼氏がいる**」という事実が…、

自分で想像していたものよりはるかに大きな精神的ダメージを与えることになっていったこと、自分のことながら驚き、彼女のことをいまだにあきらめられていない自分の惨めさも感じた。

そりやそうだ。あんだだけ可愛くておまけに胸もでかいのだ。  
〇〇代のやりたい盛りの男どもがほっておくわけないっ!!



俺の知らない、この5年間で色んな男たちが彼女に  
告白したことだろう…。そんな中で彼氏の一人や二人位  
今までできていたとしてもなにもおかしくはないのだ…。



春斗君、紹介するね？彼が私の彼氏で  
サッカー部のエースなイケメン君だよ〜♪

ムキ

ムキ

※これは妄想です

その中でもきつと、俺なんかじゃ到底太刀打ちできない(同じ雄として  
比べるのもおこがましい)、同じくスクールカーズト上位のスポーツマンで  
マッチョで成績優秀なイケメン君が彼女の、**雪華の彼氏**になってるのだから。  
美男美女のカップルだ。まさにお似合いという言葉がふさわしい二人…



そして帰宅した二人は…

※これは妄想です



〇〇代特有の有り余る性欲で……  
**雪華とS●Xしまくるイケメン君**

すきー♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡すきー♡♡♡♡♡

俺はまだ童貞なのにイケメンの  
やりちんと**交尾**しまくってる！

あの雪華が俺の知らない男と  
何百回も**S●X**を経験している、

ぐおおおお!!  
♡♡♡♡♡ゆきーか!!♡♡♡♡♡

**※これは妄想です**

そう考えるだけで、口惜しとや  
嫉妬心、劣等感で気持ち悪くなる

〇ん♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡だっししかき♡♡♡♡♡

〇ん♡♡♡♡♡

そんな苦い最低な妄想と

ムチ♡

別れ際、シヤツの下「うつすら見えた雪華の  
「透けブラ」を必死に思い出しながら……

ムチ♡



ゴゴゴゴゴ

ゴゴゴゴゴ

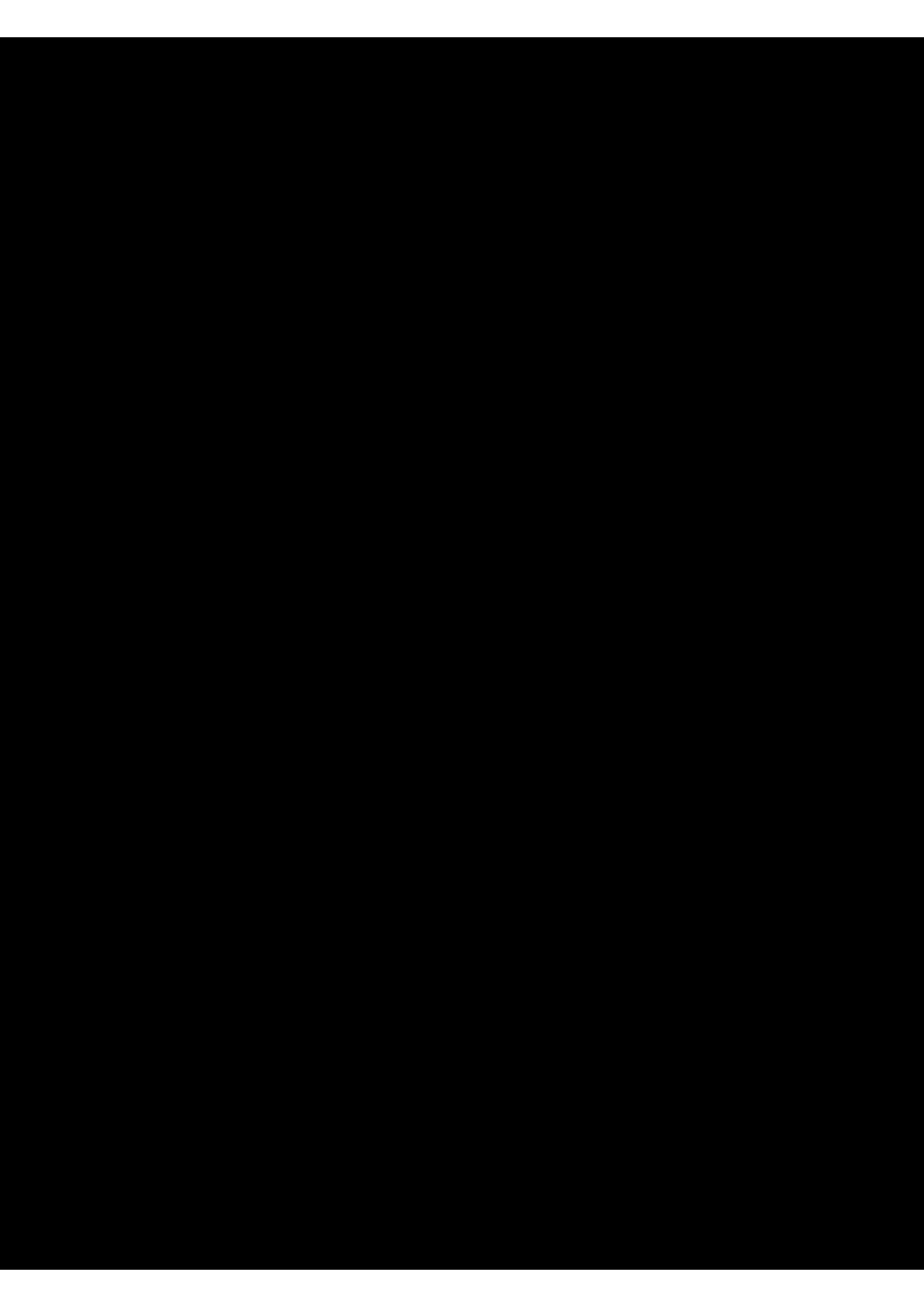
カキカキ

カキカキ  
カキカキ

俺は死ぬほどシコツた

カキカキ

カキカキ





ああんっ♡春斗君♡

すきすきすき♡

はあはあ♡

だいしゅきいだよお♡

はあはあ♡

春斗くううん♡  
すきいいい♡

この幼馴染の少女も久しぶりに  
会った「幼馴染の少年」へ思いを  
大いに暴走させていた……



とうかそもそもこの少女、カレシなど初めからいない  
大好きすぎる幼馴染と数年ぶりに会話することになり、  
とてつもない緊張から、普段ナンパにお茶を誘われた時に  
よく使う断り文句「私、カレシいるんで」が出てしまったのだ。

はあはあ♡

当然、**処女である**。しかも「いつか大好きな幼馴染と  
ベツトインした時に、強引に処女膜をぶち破られて永遠に  
消えない傷跡を残してもらう」とを夢見て、毎晩下着を  
濡らしてしまう、そんな高度な変態さんなのである。



しーがしーが……！！

……両方とも盛大に勘違いしている為、  
お互いの気持ちになかなか気づかない

気づけば速攻スペードで  
合体できるの……！！



※この物語は**妄想NTR**です。

実際にNTRされることはありませんが、  
妄想の過程で過度でエッチな表現があることを  
ご了承くださいm(---)m

そんな初恋の幼馴染が好きすぎる  
「拗らせた童貞」と「拗らせた処女」が  
お互いに誤解を解いて、いちやいちゃ  
ラブラブ合体しまくりな毎日を送る  
日が来るまで、あと

**623日(約二年)**

……多分、続く

ス この話はあららっくの  
Twitterであげたイラストを  
加筆、修正した物になります。

ル 今後あららっくのTwitterでは  
ピクシブ版より先行して  
二人の物語を進めていくつもりです。

ト もし気に入って頂けたのなら、  
あららっくのTwitterも  
フォローしてあげてくださいね(；^ω^)！

あとファンボックスもやっています。  
ファンボックスはあららっくの描いた  
イラストの設定とかラフ画とか  
上げてます。興味のある方はこちらも  
フォローお願いします(宣伝(；^ω^)！)

あ、ひさしふり  
〇〇君

ひ、ひさしふり…

五年間、疎遠だった初恋の幼馴染が  
めちゃくちゃ育っていた件

んん

第三話  
幼馴染とブラジャー

んん

んん

※この話には妄想NTRがあります。  
苦手な人は注意してください。

# 前回のあらすじ

長い間、疎遠になっていた幼馴染と5年ぶりに再会した春斗。彼女、「高嶺雪華」はまるで別人のように大きく美しく成長していた……

五年前



五年後……

ムキ



ムキ

子供の頃の不用意な発言で彼女を傷つけたと思っていた春斗は「この機会にまた仲良くしたい」と思い、勇気を出す。

しかし、時すでに遅し……スクールカースト上位の  
**爆乳美少女**へと成長した彼女には、当然の「とく

しめんね？

ムキ♡

ムキ♡

私、イケメンの彼氏いるから♡

すてきなイケメンの彼氏がいるのだった……

※これは妄想です。  
実際には彼氏はいません

# 本編スタート

……あの雪華との会話から数日が経った。時間が経つほどに俺の中での彼女は思い出の……**過去の存在ではなくなっている**。つまり再びリアルな人物として、その存在感を増していったのだ。

すぐ隣の家に彼女がいる。当たり前前のことなのに、過去の後悔からどこか日常から切り離して、できるだけ関わらないようにした結果がこの様だ。なんて俺は馬鹿なのだろうか？

ふと、外で物音がした気がして何気なくカーテンの隙間からそっと隣を覗く。

窓の外は隣の家(つまり雪華の家)があるのだが、そのスランダムな件  
の雪華が立っていた。その光景に俺は思わずどきどきしてしまっ



雪華は「半袖のーギンギン短パン」で、非常にフラフラな格好である。  
同じ年の可愛い女の子のちよつと無防備な姿に鼓動が早まる...

ゆ、雪華だ...





ふんわりとした肌触り、おそろいのほろ、**5年前の彼女との記憶**





その雪華がたった5年であんな大きな……まるで帽子のような  
**ブラジジャー**をつけるようになって、誰が予想できただろうか？

す、す……

んんん

んんん

どれだけ大きんだよ  
あのおっぱい……(ニクニク)

少女の頃の彼女しか知らない俺は、そんな幼馴染の変化を象徴する  
モノの存在を目撃して、自分でもよくわからないメンツクを受けていた。



おまけにだ、どつ見ても同年代の女子がつけるには大人過ぎた  
デザインへのブラブラジャーは…嫌がおつにも「それを見せる相手が  
雪華」はぶるのだ」「……ぶる」ぶる」を俺に意識させた。すなわち…

例の雪華のイケメンな彼氏くんの「」だ

例えば…あの恰好で彼氏を家に招き入れたとしよう。親は旅行中…、明日の朝まで二人きり…そんな雪華の寝室だ。

今日ね…うちの親  
出かけていないの♡

だからイケメン君  
うちに泊ってほしい??

そんな状態で健康な〇〇代のカップルがすることといえば  
たった一つしかない。二人はセツクスする気満々なのだ…。

♡チ♡

♡チ♡

♡チ♡

♡チ♡

もちろん…いらいよ

※これは妄想です

きつと雪華は彼氏に喜んでほしいもの下着を買ったのだ。  
いや...もしかしたら、彼にプレゼントをおたまたまものかもしれない。

じゃーん♡ほらこれ  
この前、イケメン君に  
買ってもらったブラ♡

今日の為に初めて着けて  
みたんだけど、どうかな？



どたかーん

がるん

がるん

さ、最高だよー！  
すくくえっちで

めっちゃくちや  
興奮するっ！

どりもええすんヤンの上だけめくりあげて彼氏に感想を尋ねる。  
イケメン君は大いに喜び、**自分の彼女を褒めまくるのだから...**

彼氏は当然の権利と言わんばかりに  
**あの雪華の爆乳を下から上へと**  
揉みまくって堪能しまくるのだっ！

やんっ♡触り方が  
イヤらしいよお…♡

んっ♡あっ♡

んっ♡あっ♡  
んっ♡あっ♡

相変わらず、この  
重量感…幸せ…

そんな男の行為に対して雪華も  
満更じゃない表情で愛おしくして  
そのすべてを受け入れている…

もみ

もみ

もみ

もみ



やがて、雪華の方から「早くセックスしたいの♡」と切り出す。甘く蕩けた、雄に媚びを売る雌声でイケメン君は満足そうに「いいよ、しよう」と微笑む

あのねっきよ、今日の為にコンドーム一箱(12個人り)買っておいたのお…♡

ふーっ♡  
ふーっ♡  
ふーっ♡

へっ♡コンドームは最初からエッチ期待してたんだっ？

両者合意の下で行われる**交尾**…どんなに嫉妬しても、その「他人の入り込む余地などない。

うっん♡そんなの♡こんなえっちな女の子…イケメン君は嫌いかな…？

たっ♡

全然？むしろ、俺の彼女最高って改めて思った笑

たっ♡

たっ♡

ぴったりとしたボクサーパンツを脱ぎ捨てると  
圧倒的存在感を持った雄のシンボルが解放される。  
イケメン君自慢の長さ20センチ越えの巨根

もっりっ

ほら、見いっしょよ。

ほら、雪華のおかげで  
俺もすっぴん興奮してる

あ、すっぴん……  
飛び跳ねてる……♡♡

すでに、臨戦態勢であり、いつでも交尾に臨める  
ようにMAXまで勃起している様は男の俺から  
しても嫉妬を覚える雄々さ。何よりも雪華は  
「の逞しい雄の女」になってしまった事実が……！  
俺じゃあどんなに逆立ちしても何一つ永遠に勝つ  
ことができない優秀な雄に、激しい嫉妬を覚える

それから慣れた手つきでコンドームを装着するところ  
今日の記念に携帯でお互いの「一枚ずつ撮る……」

YH~S~J~K~

びびる……♡

ニヒヒ

♡キタ♡キタ♡

♡キタ♡

♡キタ♡

♡キタ♡

♡キタ♡

♡キタ♡

♡キタ♡

♡キタ♡

外部に出たら一発でアウトな  
スリリングなコンドームは互いの  
興奮が最高潮に高まるまでく



…準備は「」まで。後はもう本番に臨むだけ。愛する二人を邪魔するものは何もない。もう待ちきれないとばかりに彼氏が少し強引に雪華に覆いかぶさる…。

それじゃあ挿れるよっ…雪華？

うんっ♡来てえ♡イケメン君♡

すでに付き合い始めてから…か月あまり…その間何度も何度も肌を重ねた。ほとんど手間取る「」もなく、亀頭の先端を雪華の雌穴に押し込んで…

♡

♡

♡

♡

おおおお……う

ぬっぶら……♡

あつてんら……

二人は合体した……

ああんっ♡来たあ♡

※何度も言いますが  
これは春斗君の妄想です

それから**雪華**とその**彼氏**は時間の許す限りSOXし続けるのだから

たまに入れる水分補給と使用したコンドームの交換を除いて、交尾を続ける。盛りをついた動物みたいに

一時間、二時間...

何度も何度も...

パッ

パッ

パッ

パッ

パッ

パッ

パッ

パッ

あ♡♡

や♡♡

あ♡♡

あ♡♡

♡ちゅ♡ちゅ♡  
♡ちゅ♡ちゅ♡  
♡ちゅ♡ちゅ♡

♡ちゅ♡ちゅ♡  
♡ちゅ♡ちゅ♡  
♡ちゅ♡ちゅ♡

くそっ………なんでだっ………本目なら  
その場所は………雪華の傍に………いるのは………!

あ………  
ゆ………  
か………

ご………  
お………

なんで彼氏作ったんだよ………雪華………  
俺の何が間違ってたんだよ………くそ………!

**俺のはずだったのに………!**

**なんで………!**

き………

あ………  
お………

い………  
だ………

あ………  
お………

なんて…本当は分かっている。悪いのは俺だ。現実に関わることを避けてきた。あげくうまくいっている奴らに嫉妬するしよーもないオタクの僻みにすぎない…

と…というかそもそも、**雪華**…いや**高嶺さん**に好かれてたつてのが…おかしな話なのだ。アレは子供の時特有のモテ期、フイーバータイムみたいなものだったただけなのだ…。

こんな今じゃない…そんな今も選べたはずなのに、俺はなにか行動する「ことを恐れ放棄した。ただ、それだけの話なのだ…。

あげく彼女を傷つけてそのまま5年も避けたお前がどの面下げて「もう一度仲良く…」「どか思えんか」を…お…

だから…もう一度おれよう。もともと俺たちにはもう  
接点なんかほとんどなかったんだし…大丈夫、大丈夫

だから「もう一回おれよう」をやるのもやめようぜ。だって  
冷静に考えてみてほしいしそれこそ「ストーカーか」みたいだし

んん

んん

そ、それ「…」また「彼女の迷惑」なるのは  
しめんだ。だから…その…今日で…終わりに

んん

かありすぎ  
だろ!!!

めきか!!!

くそっ!!!  
やっばすぎだ

し  
し  
し  
し  
し

し  
し  
し  
し  
し  
し  
し  
し

くそっ!!!あまじ  
めらあま!!!

!!あ  
あ  
あ  
あ!!!



結局、俺は雪華を諦められず  
彼女を思って一人一心不乱に  
自分の息子をじじきまぐった

罪悪感と惨めさを苛まねるのじじ  
づじじいもなめられなかつた...

その日は**回ほど**射精して  
よじぢぢく収まるのだった。

一方その頃…彼女はどうして

初めての時は「これかな？」  
それとも「うちの方…？」

ん〜春斗君って…どんな  
下着が好みなのかな〜？

ん

ん

あーん♡悩んじゃうよぉ♡  
春斗君♡春斗君好き♡

ん

同じく幼馴染の「ん」を考えていた(朝からずっとな)

相思相愛の幼馴染二人が  
お互いの思いに気が付いて  
いちやらぶするまであと…

6-8日

おそろく…まだ続く

んん

んん

もっと頑張れ春斗。  
応援してるよ、雪華ちゃん。

どうですか…

はよ、気付けっ！

そしてくっつけよ！

この話はあららっくの  
Twitterであげたイラストを  
加筆、修正した物になります。

今後あららっくのTwitterでは  
ピクシブ版より先行して  
二人の物語を進めていくつもりです。

もし気に入って頂けたのなら、  
あららっくのTwitterも  
フォローしてあげてくださいね(；^ω^)!  
(コメントとか貰えたらその分やる気も  
上がると思います!多分!)

あとファンボックスもやっています。  
ファンボックスは支援者様向けに、  
「雪華ちゃんのNTR(妄想)シリーズ」を  
順次公開しています。内容は今回の  
エッチな妄想の追加差分だと思って  
頂けるといいかと。興味があれば、そちらも  
ぜひぜひお願いします(宣伝)

五年後(現在)